

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		行事参加等で交流は図られているが、グループホームや認知症について理解していない地域の方が多い。	地域の方々にグループホームや認知症についての理解を深めてもらえるように働きかけ、今まで以上に交流を図れるようにしていく。	各行事への参加 施設行事への参加呼びかけ 施設新聞の回覧依頼 勉強会の参加・開催	12 ヶ月
2		受診・往診・入院時等、家族や医療機関への文書による情報提供を行っていたが、1部のみ渡していた。	事業所・家族・医療機関の情報の共有を図る。	家族と医療機関の2部作成し、情報の共有をより確実なものにするためにも、必ずコピーをとる 定期的に家族へ文書で、情報提供する	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。